



広報 みまた

発行・編集 北諸県郡三股町総務課 ☎52-1111 発行1月1日 No.252

町民憲章 (昭和39年1月4日制定)

わたくしどもは、歴史に輝き山河うるわしい三股に生を受け、先人の協和と忍耐による郷土建設の偉業を継ぎ、郷土愛と開拓精神をもって、ここに明るく豊かな、明日の町づくりのためにこの憲章を定めます。

- 1 常に新しい希望をもって郷土の開発につとめましょう。
- 1 教育を尊び青少年を健やかに育てましょう。
- 1 環境を清潔にし健康の増進につとめましょう。
- 1 生活を工夫しよりよい風習をつくりましょう。
- 1 力をあわせねばり強く住みよい町を築きましょう。

三股町の花 サツキ:鳥 ホオジロ:木 イチョウ



平成3年
/ 1月号

あけまして
おめでとうございます

(写真は心武会の皆さん：三股西小体育館で撮影)

年頭のいざり



町長 福永昌徳

あけまして
おめでとう
ごいいます

町民の皆様には、希望に満ちた新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は一方ならぬご支援・ご厚情を賜り、お蔭をもちまして今年後四年間、伝統ある三股町政を担当することにいたしました。心から厚くお礼を申し上げます。

年頭に当たり、その責務の重大さを改めて自覚するとともに、皆様から寄せられた信頼と期待に応えるため、対話と協調を基本姿勢に「豊かで住みよい活力ある町づくり」に全力を傾注していく決意を新たにします次第であります。

ご承知のとおり、本町は都城市のベッドタウンとしての地の利と住環境に恵まれ、植木や神田など西部地域を中心に急速な勢いで人口が増加しており、去る十月一日の国勢調査で町人口が二万一千人を突破し、その数においても、増加率においても県南の町村では特に優位に立っております。しかしながら一方、長田や梶山など東部地域では年々人口が減少してさまざまな問題が生じており、東西間の格差是正が町政の重要な課題となっております。

激動する社会情勢の中にあつて、他に後れることなく、常に時代を先取りして町の均衡ある発展を図り、「活力ある三股町」を二十一世紀にパトタッチしていくことが、私ども町政担当者にとって最大の使命ではなからうかと考えられます。そのため現在、中・長期的展望に立った町づくりのビジョン、すなわち西暦二〇〇〇年を目標年次とする第三次町総合計画の策定作業に入っており、目下、計画案を審議会に諮問しておりますが、近々答申を得て町議会にはかき、四月から計画を開始させたい

と思っております。当面する主な事業といたしましては、三股西小や三股中の校舎増築、三股小の大規模改造、上米公園や一町田公園の整備、健康管理センターやテニスコートの用地取得などがあり、町議会のご理解・ご協力を賜りながら来年度の事業として取り組みたいと考えております。

また、豊かなゆとりのある文化生活を実現するため、大規模な講演会やコンサート、研修会などが実施できる文化会館を近い将来、ぜひとも建設したいと考えておりますので、その建設資金を積み立てる基金を開始したところであります。

このほか、道路や都市下水路などの生活環境整備、生涯にわたる福祉対策、農畜産業や商工業の振興など諸事業全般にわたり、皆様のご意見・ご要望を広く拝聴しながら最善の努力をいたす所存であります。

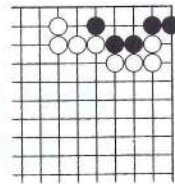
どうか今年も、町勢発展のためなお一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、この平成三年が皆様にとって最良の年となりますよう心からお祈り申し上げ、年頭に当たつたつてごあいさつといたします。

有段を目指して

詰書

出題 九段 武宮正樹
白先黒死・7手まで
●ヒント：ツケとキリをうまく使つて。
3分で1級、1分以内で有段者。



詰将棋

出題 八段 北村昌男
●ヒント：持駒がないので相手の駒を入手したいもの。
8分で3級、5分で初段。
持駒なし

6	5	4	3	2	1
		馬	銀	王	
				垂	
				竜	
			馬	桂	

(解答は12ページ)

十二月定例議会

文化施設建設基金条例など 21議案が可決成立



可決成立した主な議案

○平成元年度一般会計歳入歳出決算
歳入五十二億四千八百五十一千円に対し、歳出を五十億九千八百九十三万九千円とする平成元年度決算が監査委員の意見を付けて提案され、認定されました。(詳しくは6、7ページに掲載)

○三股町の議会議員及び長の選挙におけるポスター掲示場の設置に関する条例の一部改正
環境の美化を図り、金のかからない明るい選挙を推進するため、町の設置するポスター掲示場以外にはポスターの掲示はできなくなりました。

○殿岡生活改善センターの設置及び管理に関する条例 ○使用料及び手数料徴収条例の一部改正 殿岡生活改善センターの建設に

町議会十二月定例会は十二月十日招集され、二十五日までの十六日間にわたって開かれました。定例会には、平成元年度の一般会計歳入歳出決算や特別会計決算をはじめ、条例案や補正予算案など二十一議案が提案され、各常任委員会で慎重な審議が行われた後、本会議での採決に付され、すべて原案どおり可決されました。

可決成立した主な議案は次のとおりです。

○文化施設建設基金条例
市民の文化活動の拠点となる施設、いわゆる文化会館を近い将来建設するため、用地の取得費や建設費を基金として積み立てることになりました。

○平成二年度一般会計補正予算(第四号)
地方交付税や国庫支出金、県支出金など五億二千五百三十四万七千円の歳入に伴い、農地は児童措置費や教育振興費、農地農業用施設現年度災害復旧費、道路橋梁河川現年度災害復旧費などを補正し、歳入歳出予算総額を五十八億七千二百四十九万五千円としました。

三股町交通安全 スローガン

“交通安全 今日も 笑顔でゆずりあい”

(平成2年度～平成6年度)



2班にわかれて町内をパレード

宣言

近年、交通事故は増加の一途をたどり、幾多の尊い命が失われてきた。

私達は、これらの交通事故犠牲者に深く哀悼の意を捧げるとともに、今後、再び、このような悲惨な交通事故をくりかえさないため、あたたかい思いやり交通を原点とした「交通安全、今日も笑顔でゆずりあい」を三股町交通安全スローガンにかかげ、交通事故の絶滅のために全町民一体となって次の事を実施することを誓います。

1. 車を運転するときも、自転車に乗るときも、道路を渡る時も交差点では、必ず一時停止と安全確認をします。
2. シートベルト、ヘルメットの正しい着用を徹底します。
3. 交通安全は家庭からをテーマに家族みんなで話し合います

以上、宣言します。

平成2年11月25日

三股町交通安全対策協議会

三股町の交通事故・違反状況

①交通事故 (平成元年)

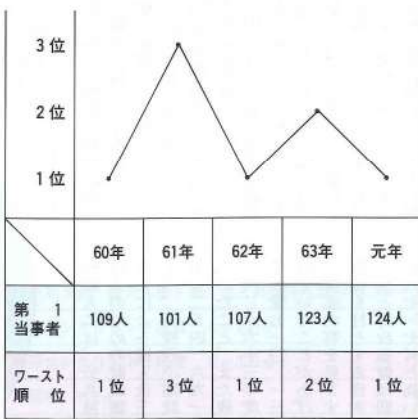
種別	発生日数
人身事故 (第1当事者)	110
物損事故 (第1当事者)	230
計	340

②悪質違反とその年齢構成 (平成元年)

種別	件数	種別	件数
酒酔い	0	無免許	22
酒気帯び	31	信号無視	1
速度違反 (30km以上)	10	計	64

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
件数	18	15	15	6	6	4	64
%	28.1	23.4	23.4	9.4	9.4	6.3	100

③交通事故発生率 (ワースト順位)



④三股町の交通事故の特徴

- ・交差点事故が多い (69.4%)
- ・一時不停止による事故が多い (20.0%)

交通安全対策協議会 わがふるさと 交通安全一運動を設定



交通安全運動は交通事情に即した取り組みが必要と、町交通安全対策協議会は去る十一月二十五日、交通安全今日も笑顔でゆずりあい」をスローガンに今後五年間、町独自の「わがふるさと交通安全一運動」を展開することに決めた。各地区公民館への宣言文伝達パレードを行いました。

近年、本町では交通事故がひん発し、県内四十四市町村の中で常にワースト上位にランクされている。このため、交通事故のない明るく住みよい町づくりを進めよう、道路の本数や変則的な交差点が多いことなど、本町の地理的条件や交通情勢に即した交通安全運動を設定することにしました。

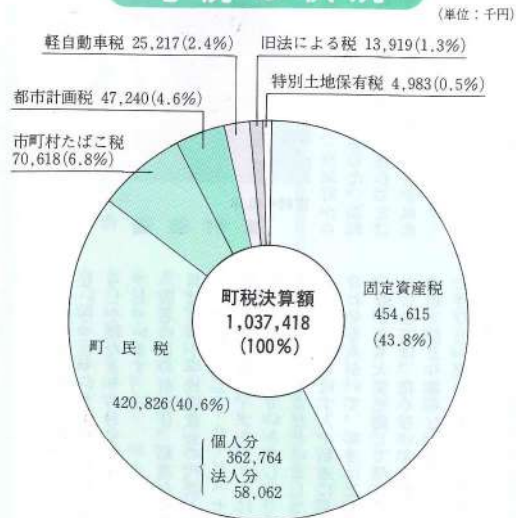
協議会には、交通安全協会役員や交通指導員、警察官のほか、公民館長や小中学校校長、保育園長、各民主団体の長など関係者約百名が出席。まず、全員で交通事故犠牲者に黙とうを捧げた後、福永昌徳町長と福重美義交通安全協会支部長が交通安全運動への協力を要請しました。

続いて、都城警察署交通係長から最近の交通情勢について説明が行われた後、協議会に入り、平成六年度まで五年間「わがふるさと交通安全一運動」の設定を契機に、町民一人ひとりが交通ルールのじゅん守、交通安全の向上に努め、交通事故のない明るい三股町にしたいものです。

その後パレードに移り、二班に分かれてそれぞれパトカーや広報車、消防車など十台を連ねて町内を啓蒙しながら地区公民館を訪問、宣言文を伝達しました。



町税の状況



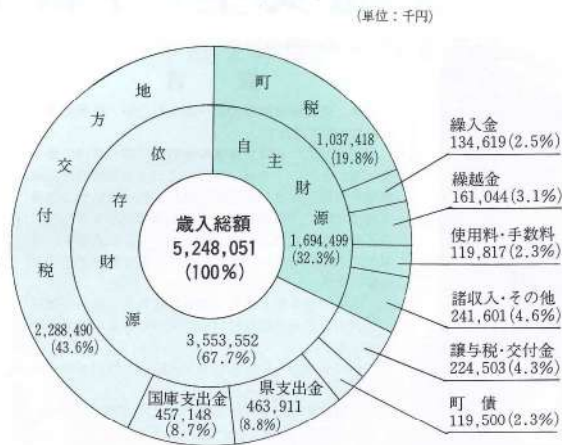
町税収一、〇三七、四一八千円を町民一人当たり単純(平成二年三月末人口二〇、八〇四人)に換算すると、四九、八六六円の町税を納めたこととなります。

一方歳出では、地方交付税や町税、国・県からの補助金、町債(借入金)などを使って町民一人当たり二四五、〇九四千円でいろいろな事業が行われました。

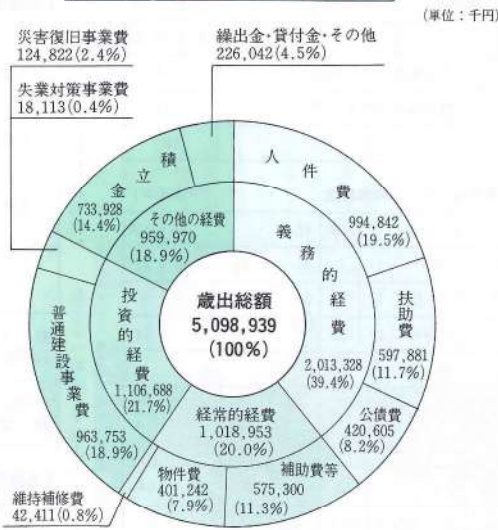
います。一方歳出の性質別支出の状況では、義務的経費が三九・四%、經常的経費二〇・〇%、投資的経費二一・七%、その他一八・九%の割合となっています。

一方歳出では、地方交付税や町税、国・県からの補助金、町債(借入金)などを使って町民一人当たり二四五、〇九四千円でいろいろな事業が行われました。

自主財源と依存財源の状況



義務的経費・經常的経費 投資的経費等の状況



平成元年度三股町一般会計歳入歳出決算は、円グラフが示すように、歳入総額五、二四八、〇五一千円(前年度五、五一〇、〇八七千円)、歳出総額五、〇九八、九三九千円(前年度五、三三三、〇四三千円)で、これを前年度と比較すると歳入では、額にして二六六、〇三六千円、率にして四・八%の減少となり、歳出では、額にして二五四、一〇四千円、率にして四・七%の減少となっています。減少の主要因として、六十三年

度歳入には、公共施設等整備基金積立のための財政調整積立金取り崩しによる繰入金三〇〇、〇〇一、〇〇〇千円、三股西小建設に伴う国庫支出金二五四、六九一、〇〇〇千円が含まれていたこと、また歳出では、歳入と同じく六十三年度に三股西小の建設費七〇、一三九千円が含まれてきたことがあげられます。構成内容を見ますと、歳入では町税を柱とする自主財源は三三・三%と財政基盤は弱く、依存財源が六七・七%と高い比率を示して

平成元年度普通建設事業実施状況

事業名	事業費 (単位：千円)	主要事業の成果
庁舎増改築事業	22,259	(継続事業、単年度分)及び増改築設計費等
農道整備事業	97,049	池ノ谷農道整備ほか9件
町道整備事業	237,466	勝岡藁池線道路改良ほか26件
新馬場榎畑線街路事業	30,000	街路改良舗装 L=72.1m
南原都市下水路事業	36,000	ボックスカルバート布設 L=242m
山王原早水線雨水対策事業	54,173	ボックスカルバート布設 L=359m
公園整備事業	52,067	上米公園(造成工3,604㎡)、藁池公園(用地2,032㎡)
消防施設整備事業	24,199	積載車3台、防火水槽2基、自主防災拠点施設52.5㎡
中学校特殊学級棟改築事業	17,861	鉄筋コンクリート平屋建 A=100㎡
中学校部室改築事業	48,732	鉄筋コンクリート2階建 A=350㎡
勤労者体育館床張替事業	16,481	床面積 870㎡
給食センター用地購入事業	60,165	用地A=4,516㎡
その他	267,301	
計	963,753	

子どもの声を聞く会(その2)

私はこんな
郷土にしたい



宮村小6年 東 村里 香

私は去年の四月に、高鍋町から宮村に引っ越してきました。これから、三股町にずっと住むことになりましたので、この三股町が私の郷土になります。

私が宮村に引っ越してきたわけは、父が宮村に住んでいる祖父と祖母を心配して、転動してきたからです。でも、父は今でも朝早く起きて、宮崎まで通勤しています。

宮村には、私の祖父母と同じようなお年寄りが沢山住んでいます。九月十五日の敬老の日の前に、全校のみんなでお年寄りに葉書を出すために、宮村に住んでいるお年寄りについて調べてみました。宮村だけで六十五歳以上の人が、二百六十五人もいらっしゃいます。

この中には、元気で働いている人もいらつしゃいますが、ひとり暮らしや寝たきりのお年寄りもいらつしゃいます。

敬老の日の前日、私達全校委員は宮村小学校児童会の代表として、三股町のデイサービスセンターと清流園に、プランターに育てたお花を持っていきました。皆さん大変喜んでくださいました。

そして、涙を流す人や私達に手を合わせる人がいて、私達はとまどいながらも大変感動して帰りました。私達は、花ぐらいいとホームですが、ひとり暮らしや老人ホームでさびしい思いをしているお年寄りの皆さんにとっては、子供とあ

私はこんな
学校生活を送りたい



三股西小6年 武 永 紗代子

気持ちで進んで活動しようという目標を設定してがんばって来ました。

その一つが奉仕活動です。三股西小學校には、花だんがたくさんあります。春にはチューリップ、夏にはヒマワリ、秋にはコスモス・菊など色とりどりの花が咲き乱れ、私達だけでなく、学校を訪問された方々の心を和ませてくれます。花といっしょに雑草も成長します。そうじゃ草とりの時間だけでは、とても間に合いません。そこで私達は、毎朝登校した人から一本でも雑草をへらそうと、四月から草取りの活動を続けています。次に、今年の六年生は全員、大菊を育てました。先生方の指導のもとに消毒以外は、ほとんど自分たちでやりました。ついこの間つ

れあうことがないので、大変喜んでくださったのだと思います。

十月十八日には、宮村に住んでいるお年寄りの皆さんとの交流活動をしました。その時は、昔の宮村のお話を聞いて、遊びを教えてもらったり、いっしょに給食を食べたりして大変楽しい活動ができました。終わってから、お礼のお手紙が何通か届きましたが、その中に次のような文章がありました。「六十年前のあのやんちゃ坊主時代のことか次から次に走馬燈のように浮かび、私達にも宮村小學校時代があったこと、あらためて感無量なものがありません。」

「おはよう。」
「おはようございます。」
毎朝、明るく元気なあいさつが、「あいさつ通り」でかわされます。女間の前のオレンジ色と緑色のカラー道路。みんなで名付けた「あいさつ通り」です。アーチの下には、「あいさつ通り」と書かれた看板が下がっています。私達は、あいさつをかわしながら、「今日もがんばるぞ。」という気持ちにな

ったように、学校のことを話したり、その頃遊んだ遊びを楽しそうにしていらつしゃるのを見て、びっくりしました。そしてその時、私達はお年寄りの皆さんに、生きたことに素直にさを感じてもらったことに誇りが付きました。私達小学生にできることは、お年寄りの皆さんに、もっと接する機会を多く作るのだと思います。私達も、あと五、六十年すると年寄りになります。年をとるとさびしくないようにするためには、皆が心を寄せあうことだと思います。私の父も、祖父の心を感じたから宮村に帰ってきたのだと思います。お互いに相手の立場や心を感じ取って、私達の郷土に住んでいる人みんなが手を取り合って、楽しく生きていけるような住みよい郷土にしたいと思います。

教室の窓をあげ、教科書類を出したら、朝の奉仕活動のため外出します。二階の渡り廊うかの「ほほえみ通り」の看板が、また気持ちを明るくしてくれます。ほほえみを絶やさないようにして、思いやりのある人間に成長してほしいという、先生方の願いがこめられたろうかです。窓辺には、私達が季節の草花をかざります。花びんのです。

けた輪台の上に、白や黄色の大菊が花をつけました。みんな大喜びで、毎日見に行くことを欠かしません。近く菊の展覧会をする予定です、現在、菊の育てています。

その他、運動会への取り組みも力強いものがありました。前に述べた奴おどりはもちろんですが、今年の特色は、何と云っても「西小音頭」を作ったことです。みんな一行でもということ、夏休みを考えて、作委員会をもうけて先生の指導のもとに、三番まで作詞しました。明るい調子の中に、「進んで勉強する子供」、「思いやりのある子供」、「体をきたえる子供」と、学校の目標が入っているところや、ばんそうに校歌をアレンジしたところが特ちょうです。

運動会の全校ダンスとしておどりました。

私は、集会委員会のメンバーとして、学校の生活をみんなが楽しく充実したのとして過ごせるように、提案をしたり、計画をして実行したりしています。全校の人が計画したことに喜んで参加してくれたら、よかったです。また次の事を考えることができそうです。

これからの郷土



三股中3年 新 森 直 樹

「三股」という町に生まれて、十五年がたちました。つい最近までは、ただ三股に住んでいるだけと思っていませんでした。本

当に郷土というものについて考えだしたのは、中学生になってからです。

中学生になると、いろいろな友達ができ、広い目で三股という町を見れるようになり、郷土というものに関心を持つようになりました。関心を持つだけでなく郷土の事について、僕なりに考えて見る事にしました。

最初に頭に浮かんだ事は、
・若者が減りつつあること
・高齢者が増えていること

・観光開発が遅れていること
・人口二万人を越えながらも過疎地区があるということ
といつたような四つの事が浮かんできました。

まず、若い人が減りつつあるという事について考えて見ました。その原因はいろいろあると思います。やはり若者が興味を持つような仕事場がないという事が、第一の原因だと思います。という事は、この郷土に魅力がなくなり、県外に就職を希望する人が増えてくる

事になります。その県外就職を防ぐためにも、やはり若者に興味を持たせるような会社や工場などを、この郷土に誘致して行く事が大切であると思います。そうすることによって、若い人が増えて活気あふれた町になっていくことだと思います。

人を越えている」と話してくれました。その話を聞いて高齢者がずいぶん多い事に驚きました。この高齢者のために対策を考えていく必要があると思います。今行っている、ゲートボール、グラントゴルフ等を広めるのもとても良い事だと思います。しかし、体の不自由な人もいます。その人たちのためにも、もっと使える施設があれば楽しく長生きできると思います。次に観光開発が遅れている事について考えて見ました。この三股という町「ほんとうに観光資源が少ない事に気づきます。だから、観光客をあまり見かける事はありません。観光資源といわれてもありません。

心は冬だった



三股中3年 青山 由紀子

日本には、春夏秋冬といわれるように四季があります。快い風が吹き、どの葉も青々としてまぶしい季節があると思えば、やがてその葉が散り、冷たい北風が吹き始める季節も用意されています。そ

まりよく分かりませんが、開発を進めて行くとしたら三股の自然を生かして見るのもどうかと思います。特に、山や川などを開発する事によって、三股が観光の町として進んでいく事ができると思います。町民に、そのアイデアなどを募集すれば又、おもしろいものがでてくるのではないのでしょうか。又、自分たちの町として、真剣に考える機会になるのではないのでしょうか。

最後に、人口二万人を超えながらも、過疎地区があるという事について考えて見ました。「植木、花見原、夢池地区」など人口が増加しているようですが、一方では

の季節と同じような変化が心の中にもあります。私はかつて、冬の心を味わったことがあります。私が今日の意見発表を「心は冬だった」と題したのは、そういう意味を込めたかったからです。

私が中一の秋のこと、バレーボール部に所属していた私は、いわゆる「無視」というものを味わっていました。今だからこ簡単に口に出せる言葉ですが、当時の私の心は、別の言い方をすると、もう少しガラス細工のようで、少しの振動で粉々に割れて、影もかたちもなくなってしまうようなもの

てくれていったのです。私は部活を辞めました。今では後悔も何もありません。ただ、失ったものがなかったという真実は、本当にうれしかったです。私のとった行動が、他人から見たら逃げるようにしか見えなかったかもしれない。確かに、目の前にもある現状に対して逃げていたのが正しけれません。部活を辞めたのかということとはわかりませんが、私は決して失敗ではなかったと思っています。

去る九月二十三日、三股中学校の体育大会の日でした。昼食が終わると部活動紹介があります。私には関係のない行事だと思っていたら、バレーボール部の三年生が、「ボールもバレーボール部やがね。」と声をかけて、バレーボール部の行進に加えてくれました。あの時は本当にうれしくて、胸がいなくて、熱くて、涙もどこから出てくるかわからないくらい溢れてきて、何かとても大切なものを受け取ったような気がしました。またその他、郡大会の日に後輩から千羽鶴の中の一連をもらったりして、胸が熱くなったことを覚えています。三年間続けることはできなかったけど、そういう意味では部活を辞めたことを後悔

地区によって人口が減少しているようです。母から、ある人が「私たちの地区にも団地や住宅が出来るといいんですけどねえ」と話していたと聞きました。僕は、その事を聞いていろいろと考えさせられました。やはり、三股という郷土の活性化のために、越えなければならぬハードルだと思えます。そのために、いろんな対策を考えていかなければならないと思います。

このほかにも、三股の良い点なども考えて見ました。例えば、教員面に関しては、とてもすばらしい町だと思えます。「三股西小」「僕たち三股中の部室」など、り

さを持つていたのです。毎日、学校に行くという単純なその行為自体さえ、嫌で嫌でたまりませんでした。日がたつにつれ、私の顔からは笑みが消え、学校にいる時間がそれこそ地獄でした。そんな時、私を救ってくれたのは、他ならない友達存在でした。彼女はそれまであまり親しくなかった人でしたが、暖かく手を差し伸べて、私を優しく包んでくれたのです。そして、今まで一人で悩んでいたこと、苦しんでいたこと……いろいろと話してアドバイスをもらったりして過ごしてきました。

つばな建物を造ってくださいます。又、学校を訪問して研究をしてくださっていると思います。そのほか、農産面、社会面など考えなければならぬことはたくさんあると思います。それらは、ここからの僕たちの行動に全部かかってくると思います。今からすぐにはいきませんが、少なくとも、十年以上はかかると思います。

そのころには、もう僕たちはりっぱな社会人です。それまで、僕たちは町の行事等に進んで参加し、何年かかろうとも郷土の活性化のために協力していきたい、理想のある文化的な三股町を作っていきたいと思えます。

私は母にも先生にも相談しましたが、その中で一番心に残ったのは、やはり友達言葉でした。友達は、大人のように決してなぐさめたりはしてくれません。そのかわりに、本当に自然に楽しく明るい話やたわいのない話などをして、その場をもり上げてくれます。そんな時だけは、自分の現状を忘れて、心の底から笑うことができまいた。そんな毎日を過ごしていきうちに、苦しかったことも少しずつすつすつと、私に隔差が見え始めてきました。言ってみれば、「時」が物事を解決し

していません。

この事だけではなく、今まで色々な経験をして、たくさん仕事を学び、人の気持ちも少しはわかるようになりました。自分で受けた苦しみや悲しみを、他の人には決してあたえたくはありません。

それ以来、私は自分に対する目標、及び理想像を二つ掲げました。第一に、自分に壁をつくらない。第二に、いつも笑顔をやさしいという目標です。今までは○はできない、私には○はむかないなど行動をとらずに拒否してきました。だから第一目標として、自分に壁をつくらないということを立てたのです。また、悩みごとがあつたりすると、顔や行動にて周りの人に大変迷惑をかけます。そういう意味で、いつも笑顔をやさしいということを第二の目標としました。

このように私は、自分に二つの目標を立てました。私は目標を立てたときから、いつも頭に置いて行動しています。だから、今までよりすつとさわやかな生活が送れているのではないかと思います。私はこれを今だけではなく、社会人になっても守っていきたいと思っています。こんな気持ちを持って中学校を卒業できる自分が、今ではとても幸せに思っています。



だより (第51号)

第十八回

読書感想文・感想品の応募作品多数

各学校から、多くの作文や絵が届けられました。今回で第十八回という歴史をもっています。ただ今、審査に入っていますが、この中から、各学年ごとに特選一、入選二を選びます。審査の結果は、一月中旬に各学年に通知するとともに、広報みまた図書館だよりでも発表する予定です。また、入選作品集(さつき第一七号)も発行します。感想文については、当図書館に展示し、その後巡回展示するよう各学校にお願いしたいと思っています。

作品の中には、なかなか読み応えのあるものがあり、子どものすぐれた感性と、感動が伝わってきました。

町内小学校の一年生を
図書館へ招待

十一月中、下旬ちょうど蔵書整理のため、休館しましたので、この期間を利用して、一年生を各学校ごと図書館に招待し、図書館についての勉強をしてもら

いました。

図書館があることを知らない、図書館に親しみ、もつと館の本を読んでくれる。きっかけともなればという願いから、始めたものです。

招待の当日は、図書館について、館内のマナー、一年生向きの本の紹介、借りるときの手続き、ここのおじさんや、おねえさんの仕事などを話し、紙芝居を読んでもって、その後時間まで自由に本をとって読んでもらいました。

どの学校の一年生も、眼を輝かして、熱心に話を聞いてくれました。

各学校、担任の先生、町の運転手さんをはじめ、関係の方々のご協力により、予定どおり終りましたことを厚く感謝いたします。

一月のお知らせ

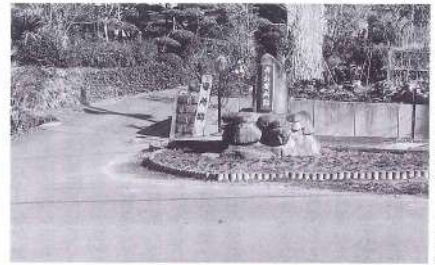
母親読書の会 10・24日
ぶどうの会月例会 17日
(読みかかせ会) 毎週水曜日
休館日
・1月4日まで
・成人の日 15日
・毎月曜日 7・14・28日
・第三日曜日 20日
・火曜日の午前 8・22・29日

町指定文化財

「日州寺柱番所（関所）跡」

寺柱番所は薩摩藩領から飫肥藩領に通じる寺柱街道の終点にあった重要な番所で、薩摩藩九か所の陸地番所の一つであった。なお、この通路は幕府巡検使の通行の公道で、特に厳重に取り締まった。この番所を通行した最初の記録は寛永十年（一六三三）巡検使三名で、その後も度々巡検使の通行があり、一般人の通行も行われていた。

また、廻路番所として前畑、小鷲巣、高畑



の三か所があり、本番所と合わせて十八人の番人が守っていた。番所の廃止については、はっきりしないが、明治三年（一八七〇）

「日州梶山番所（関所）跡」

藩政時代、飫肥藩領と境を接する間道の集約された梶山集落切碕に、伊東氏に対する防備の意味から設けられ、細目、諏訪、野首に廻路番所があり、計十五名の番人が守り、寛永二年（一六二五）には薩摩藩士が番頭として赴任したことが記録に残っている。

その後、長田地区に設けられた十一の集落も廻路番所の役目を受け持った。

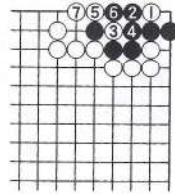
また、島津家の狩りが毎年行われ、番所の巡視を兼ねていた。

この番所は現在の梶山切碕集落の東はずれに位置している。



この番所は、宮村小学校から東へ約六〇〇mの寺柱集落内に位置している。

囲碁・将棋解答



〈詰碁正解〉白1とツケ、黒2なら、白3のキリがカケ眼ねらいの好手で以下7で決まり。

〈詰将棋正解〉2三竜、同金、1一馬、同玉、2三桂、同角、2二金まで7手詰め。

〈解説〉2三桂成とすると同金、同竜、同玉となり、玉が上部へ出てきます。まず竜を捨て、次に1一馬が妙手です。これに気付けば終わりです。

昼休み窓口業務の廃止について

（執務時間）
月～金 午前8時30分～12時15分
午後1時～午後5時
土 午前8時30分～12時30分
※第二・第四土曜日は休みです。

新しい戸籍は正しい字で

平成三年一月一日から実施

戸籍はパスポートを取得する場合とか、相続登記をする場合など、いろいろなところで利用されています。

このように戸籍は、日本人についての身分関係を登録・公証する公文書として重要なものですから、正しい文字で記載する必要があります。

正しい字で記載します

- （一）従来の戸籍に氏名が誤字・俗字で記載されている方について、次のような場合には、新しい戸籍に正しい字で記載します。
 - ア、婚姻、転籍などによって新しく戸籍を作る場合
 - イ、養子縁組などによって他の戸籍へ入籍する場合
 - ウ、戸籍を再製する場合など
- （二）誤字・俗字を正しい字で記載する場合には、届出の時あるいは戸籍に記載した後に、その旨をお知らせします。
- （三）俗字のうち、「高」とか「崎」など一定の範囲の字については、従来のまま記載します。

申し出によって正しい字に

訂正することもできます。現在の戸籍については、そのままで正しい字に直りませんが、申し出によって、いつでも戸籍に記載されている誤字・俗字を正しい字に訂正することができます。

申し出によって難しい字体をやさしい字体に直すことができます

戸籍に記載されている氏名が、

今年も「供託制度百周年」

平成三年は、「供託制度百周年」に当たります。供託制度は、日常生活における私的紛争の解決方法の一つとして広く国民の間で利用されています。身近な供託としては、地代・家賃の弁済供託があります。地代・家賃を受け取ってもらえないからといって、そのまま支払わないでいると、借地人、借家人は法律上不利な立場になります。このようなとき、法務局に供託しておけば、地主や家主に支払った

のと同じ効果が得られるのです。

供託には、このような弁済供託のほかには、差押え、仮処分などの担保供託、家畜商や宅地建物取引業者などの営業保証供託、選挙供託執行供託などいろいろあります。詳しくは左記へお気軽におたずねください。

- ◎宮崎地方法務局供託課
- ☎（〇九八五）二二一五二二四
- ◎宮崎地方法務局都城支局
- ☎二二一〇四九〇

町の話題



盲導犬に対する知識や理解を深めようと、町視覚障害福祉会、馬渡四郎会長、会員十五名は、このほど延岡市の

盲導犬講演会を開催

濱方正正さん(50)を講師に招いて講演会を開催、視覚障害者や福祉関係者など二十五名が聴講しました。

講師の濱方さんは、

介護者教室

救急法など学ぶ



高齢化社会が進展する中、寝たきり老人の介護技術の向上を図ろうと、町社会福祉協議会はこのほどアイ・サービスセンターで介護者教室を開催、寝たきり老人を抱えている家族やホームヘルパーなど約五十名が参加しました。

「NHK土曜朝市」賑わう
十二月一日、三股町が出店

十二月一日の「NHK土曜朝市」に三股町が出店、会場は大勢の買い物客で賑わいました。

類にも及ぶ農産物や加工品を即売。午前七時五十分、開門と同時に買い物客が売り場に殺到し、本町特産のいちごや野菜、みそなど、またたく間に売り尽くされました。

盤上の熱戦を展開

第一回町長杯囲碁大会



町棋友会(木野田保生会長、会員六十三名)が主催する、第一回町長杯争奪囲碁大会が十二月九日、老人福祉センターで開かれ、二十三名が盤上の熱戦を繰り広げました。

大会には福永町長(二段)も選手として参加。二段以上の部と初段以下の部に分かれて競技が進行され、両部門の優勝者同志で町長杯を争いました。

優勝 上村 辰巳(初段)
二位 上妻 茂幸(五段)
三位 今村 明生(三段)
なお、棋友会の定例碁会は毎月



郡一周駅伝大会

第八回北諸郡一周駅伝競走大会は十二月九日、高崎町役場をスタート、三股町役場をゴールとする八区間、三十三・五キロメートルの距離で行われました。

大会は、北諸郡体育協会が毎年開いているので、今年の大会には一般の部と青年の部、中学の部に計十六チームが参加。小雨のばらつく中で健脚が競われ、本町チームが一般と青年の二部門で優勝しました。

ソフトボールで長田が優勝
スポーツ少年団球技大会

町スポーツ少年団が主催する、野球・ソフトボール大会が十二月九日、旭ヶ丘運動公園で開催され、野球の部に四チーム、ソフトボールの部に八チームが参加、熱戦を展開しました。

(野球の部)
優勝 西小スポーツ少年団
二位 樺山スポーツ少年団
(ソフトボールの部)
優勝 長田スポーツ少年団
二位 西小スポーツ少年団



自然保護

推進員募集

自然を守り育てるボランティア及びリーダーとして、地域の方々の中心となって活動してみませんか。

自然保護について、理解と熱意のある方の応募をお待ちします。

〔応募資格〕 県内に居住する十

二歳以上の方

〔定員〕 一、五〇〇名

〔任期〕 二年

〔募集期限〕 一月十九日まで

〔問合せ先〕 宮崎県環境保全課 自然保護係

☎〇九八五―二四―一一一

今月の納税

県町民税 4期
保険税 5期

税金は滞納しないよう
早めに納入しましょう。

宮崎県東京学生寮入寮生募集

東京学生寮(男子)は、都心の千代田区九段に位置しJR中央線、地下鉄都営新宿線、地下鉄有楽町線の市ヶ谷駅に近く、非常に交通の便の良い所にあります。

募集定員 五十名(二室二名)

入寮資格 大学一学年の男子

入寮期間 二年間

寮費 一四、四二〇円

受付期間 二月一日

申込み先 県教育庁学校教育課

☎〇九八五―二六―七三三七

バイクも保険に

加入しましょう

二五〇〇C以下のバイクには車検制度がないこともあって、自賠責保険(共済)の継続契約を忘れがちです。

「油断は禁物」、バイクの起こす人身事故も軽視はできません。無

保険(無共済)で死傷事故でも起こしたら、それこそ大変です。

もし、契約切れになっていたら、早目に入入しましょう。

健康管理のために

「人間ドック」の利用を

町立病院では、早朝七時「人間ドック」を実施しています。

実費 七、二一〇円

愛の献血



小さな感動「こころ発 すこやか行き 愛の献血」にご協力いただきありがとうございます。

〇十二月十七日

役場(来庁者を含む)

・成分献血 一五名

・全血献血 四〇名

〇平成二年四月〜十二月までの町内献血者数

・成分献血 四五名

・全血献血 九六八名

昨年一年間、献血に多くの町民の皆様のご協力をいただきました。

今年もご協力のほど、よろしくお願いたします。

愛のご寄付

三股町社会福祉協議会では、昆明寄付を次の通りいただきました。故人のご冥福をお祈りいたしますと共に、社会福祉発展のために有意義に利用させていただきます。誠にありがとうございます。

平成二年十一月一日から

平成二年十一月三十日まで

寄付者 続柄 故人名 地区 金額

- 森木 昭 妻 キヨ子 助 森木 三万円
- 友房 カネ 夫 安美 〇 井田 五万円
- 木佐貫 ハツエ 夫 一男 〇 下新 二万円
- 桑畑 清穂 母 ナツ 〇 下新 二万円
- 川上 守 母 シツエ 〇 今市 二万円
- 黒木 宗隆 母 ケイ 〇 大野 二万円
- 皆森 君恵 夫 利美 〇 仲町 二万円
- 星室 好子 母 タカカ 〇 飯屋 二万円
- 飯田 倫郎 母 クニエ 〇 仲町 三万円
- 水久保 ヒロ 母 村中ツルエ 〇 都城 二万円
- 黒木 繁 母 アイ 〇 切寄 三万円
- 久木山 充都 母 貞子 〇 植木 十万円
- 出水 テイ 夫 兼 雄 〇 山原 三万円

三股町の人口

平成二年12月1日現在

男	9,961人	出生	24人
女	11,137人	死亡	12人
計	21,098人	転入	93人
前月比	+51人	転出	54人
世帯数	6,861戸		